

# 矯

キヨウ  
ためる

17画  
と 矢 矢 矯 矯 矯 矯

「左下へはらう」

なりたち 高くて上が曲がっている意味の喬(きょう)と、矢との会意形声字。曲がった矢という意味の字。曲がった矢はまっすぐに矯めることをしなと使い物にならないので矯める「意味を表した。」曲がっている「意味にも用いる。」



いみとじゆくこ  
▼矯める。まっすぐに直す。矯正：欠点を直すこと。矯風：悪い風習を改め直すこと。

▼曲がる。いつわる。表面を飾る。

▼激しい。強い。矯激：言動などが極端に激しいこと。用例 矯激な振る舞いにまゆをひそめる。奇矯：言動が風変わりて激しい様子。用例 奇矯な行動が多い人。

# 矯短

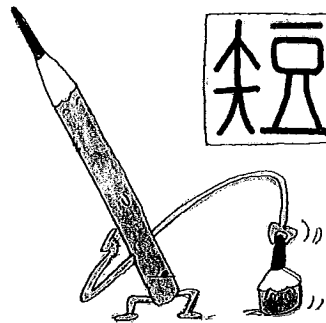
# 短

タン  
みじかい

12画  
と 矢 知 短 短 短

「みじかくとめる」

なりたち 短小の意味の豆と矢との会意形声字。「豆矢」という意味の字で、短くて小さい「こと」を表したものを。転じて、足りない「こと」、欠点の意味に用いる。



いみとじゆくこ  
▼短い。短時日：わずかの日数。短い期間。短縮：短く縮めること。用例 時間を短縮する。

短歌：五・七・五・七・七の三十一音でできている和歌。短刀：短い刀。短剣。短兵：短い武器(「兵」)。例 短兵急(短刀などで急にお互いにかかるところから、出し抜けてに事を行う様子)。短命：寿命が短いこと。反長

▼足りない。劣っている。短所：劣った所。欠点。反長

短才：①才能が乏しいこと。②自分の才能の謙称。

短慮：①考えが浅はかなこと。②気短なこと。

よみかた 短気・短冊・短編

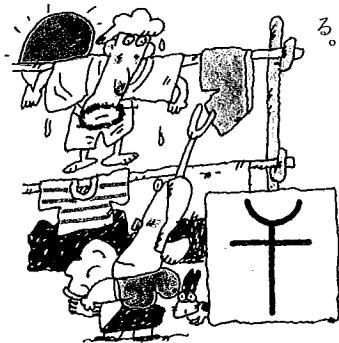
# 干

カン  
ほす・ひる

6画  
一 二 干

「ながく」

なりたち 先が二またに分かれた武器の形をかたどった象形字。武器を執り「侵す」意味、反対に「防ぐ」意味に用いる。防ぐ意味から「盾」の意味にも用いる。乾の仮借(かて)で「ほす・ひる」の意味に用いられる。



いみとじゆくこ  
▼侵す。逆らう。干犯：他人の権利に干渉し、領分を侵すこと。▼防ぐ。盾。

干戈(かんこ)：盾と戈(こ)。武器。用例 干戈を交える。(戦う。)

▼かわる。与(あず)かる。干与：あずかる。関係する。干与とも書く。用例 事件に干与する。

干渉：当事者でない者が、立ち入ってかかわりあうこと。

▼干す。干ひる。かわく。干拓：湖・沼・海などを干して陸地や耕地にすること。

干満：潮のみちひ。

▼えと。干支。

干支：十干と十二支。えと。

よみかた 干害・干拓・干潮・干天・干菓子・干物・梅干し・潮干狩り・若干・虫干し・欄干

# 干汗

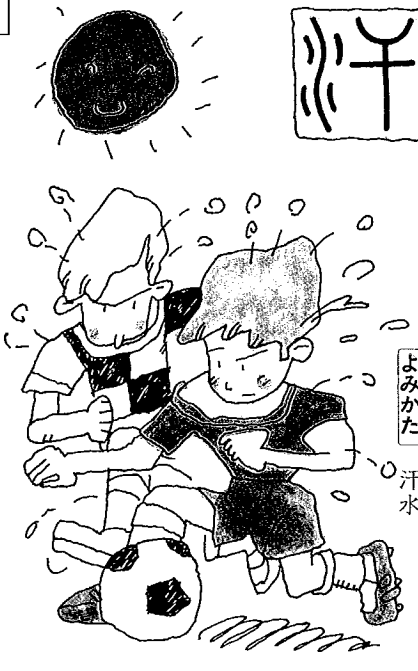
# 汗

カン  
あせ

6画  
一 一 汗 汗 汗

「ながく」

なりたち 上を犯す意味の干と水の意味の(さんずい)との会意形声字。下から上を犯す水の意味で、皮膚の下から上ににじみ出てくる「汗」を表した字。



いみとじゆくこ  
▼汗。汗をかく。発汗：汗をかくこと。例 発汗剤

冷や汗：恐ろしい時や恥ずかしい時にかく汗。

汗顔：恥ずかしさのあまり、顔に汗をかくこと。非常に恥ずかしいと思うこと。

用例 汗顔の至り。汗馬の勞：戦場での功勞。(馬を走らせ、汗をかかせて得た手柄。)

よみかた 汗水